

植林によるカーボンオフセット消火器 「ECCOする消火器」が話題

横浜消火器

横浜消火器(横浜市磯子区馬場町一四八、☎〇四五七五一一五五五)は、二月四日〜六日までパシフィコ横浜で開催された「テクニカルショウ ヨコハマ」で、「ECCOする消火器」などを紹介し、来場者より好評を博した。



カーボンオフセット消火器

「ECCOする消火器」とは、日本初の植林によるカーボンオフセット消火器である。日常生活で必ず出してしまうCO₂。これを吸収する木を育てることで、出てしまったCO₂(「カーボン」)を埋め合わせ(「オフセット」)しようというのが「カーボンオフセット」である。

地球環境保全の植林事業を当し、それは一人で約三六展開。販売した消火剤量が二五〇kgに達したとき、カラマツ一本を植林する。これにより同じくCO₂(二五〇kg)相当を吸収する。例えは、粉末消火器一〇kg。消火器内の消火剤容量と同僚のCO₂をカーボンオフセットするので、粉末消火器一〇型一本当りのカーボンオフセット量は三kgとなる。三kgのCO₂排出量というのは、水道の使用量だと約八七六〇分に相当する。



植林は、中国内モンゴル自治区ウランチャブ市卓賓ル自治政府との三十年間の問合せは、フリーダイヤル

植林事業契約のもと行われ、消火器の購入・交換がECCOになるこのシステムは、今注目されている。建築物には必ず消火器の設置が義務づけられており、その消火器にカーボンオフセットを付加することによって、環境負荷の軽減へ貢献する。同社が排出権ではなく、植林を利用してCO₂の吸収を行うことにしたのには、砂漠拡大・黄砂流出が大きな社会問題になっている地域に直接貢献し、貧困地域に雇用を創出するという付加価値を考へてのことである。



「ベルカ」④と「キャリダン」

ル〇二〇一九六三〇一八九〇。▽ホームページ <http://www.hinojoji.com/> また同社では、救護担架や非常用階段避難車なども取り扱っている。

「救護用ベルカ担架」は、通常は二人で担ぎ、緊急時には一人で担げる担架である。腕力で担ぐのではなく、身体全体で担ぐので女性や緊急時には一人でも担げる構造になっている。畳まれたベルカを広げ、背中にベルトを交差させて掛ける地域に直接貢献し、貧困地域に雇用を創出するという付加価値を考へてのことである。

非常用階段避難車「キャリダン」は、地震・火災などの災害時にエレベーターが使えない状況下で歩行困難な人を一名の人員で廊下をすばやく移動、階段を安全に避難させることができる。階段下降スピードは自動制御。階段途中で停止することも可能。

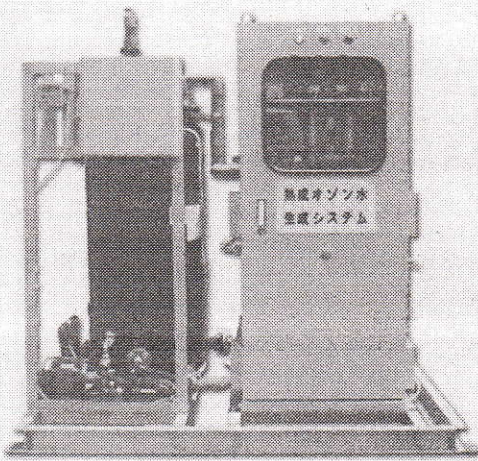
リガルジョイント(神奈川県相模原市大野台一四九、☎〇四二七五六七五六七)は、二月四日〜六日までパシフィコ横浜で開催された「テクニカルショウ ヨコハマ」に、オゾン水関連製品を出展、来場者より好評を博した。

同社の「熟成オゾン水生成システム」は、不安定なオゾン水を安定化させて連続的に高濃度オゾン水を供給する、今までにない画期的なシステムである。特許取得済み。

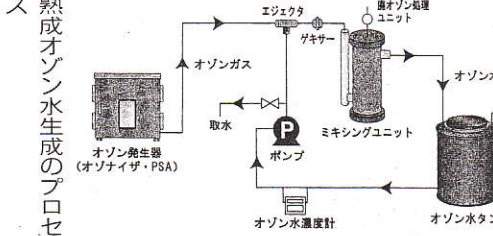
オゾンは既存食品添加物として、安全で無害なも

連続的に高濃度オゾン水を供給 「熟成オゾン水生成システム」

リガルジョイント



「熟成オゾン水生成システム」



として、安全で無害なも 汚染処理、殺菌の殺菌ノ。今までのオゾン水の常 洗浄など)、畜産(豚舎、鶏舎)を破り、人間や動物が飲 牛舎内の殺菌/洗浄/脱 用しても害がないので、臭、動物飲料水として飲用 する。原料が水と酸素である(水、魚業(カキ・海藻 ため、クリーンなオゾン水 魚の養殖など)、医療(手 洗いの濃度が高い(10ppm)にもかわらず、オゾ ン臭が少ない。殺菌効果は 処理、ペットボトル・ビン 抜群などとして、既に食品工 場や飲食店、厨房などで利 用されており、高い評価を 得ている。

用... 二... 水... 式... 間... 濃... 水... 性... 能... 測... 量... 器... 正... 確... 単... 力... 緑... 力... プ...